

### 3. 言葉の集約

#### (1) 関係者によるワークショップ

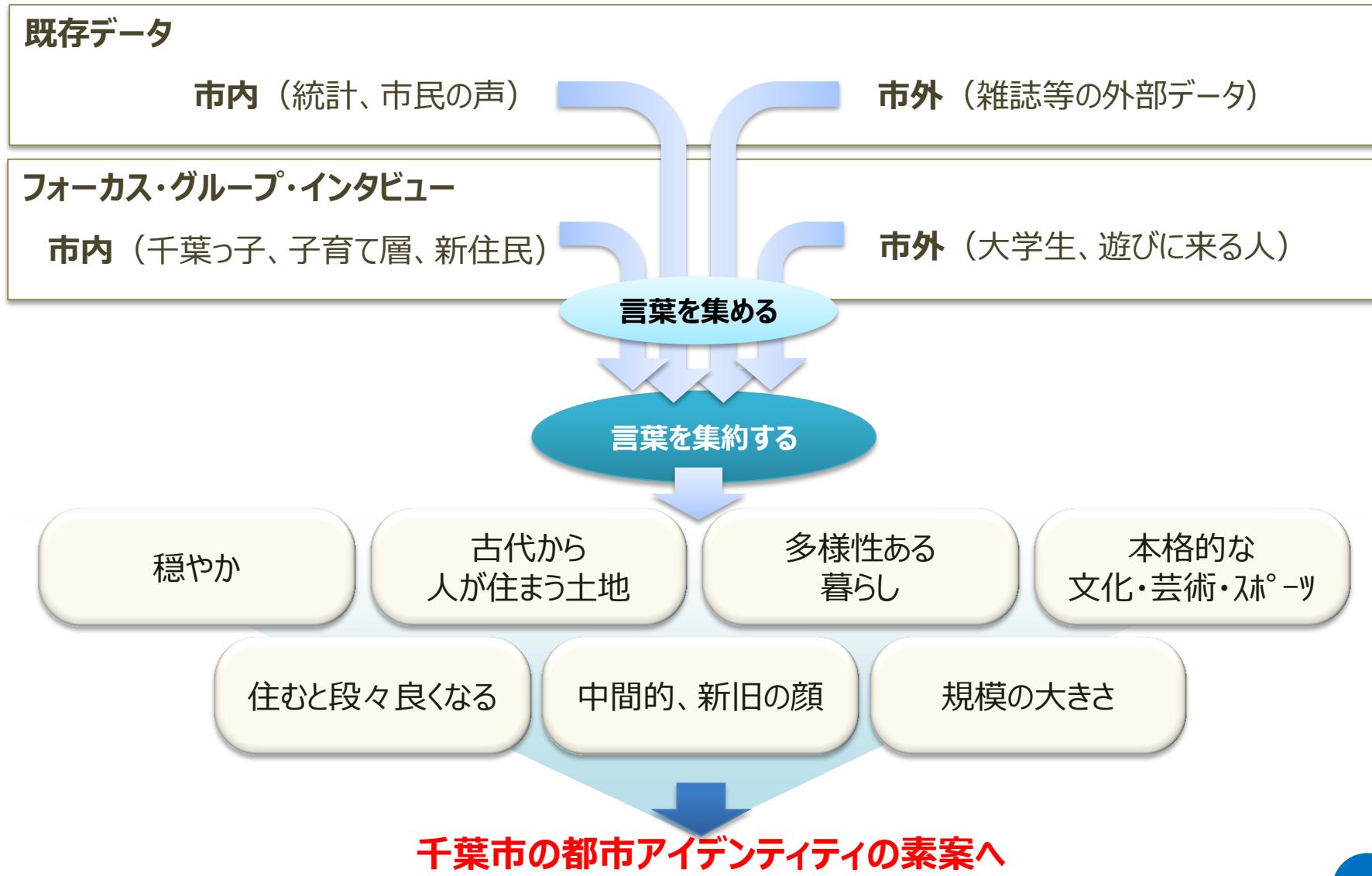
ワークショップでは、集めた言葉や千葉市のイメージ（市民・市民外）を共有し、千葉市の都市アイデンティティに通じる情感・素材の整理を行った。

その中で、千葉市の都市アイデンティティ（千葉市らしさ）に通じる内容として、主に次のようなことが存在するのではないかという認識を確認した。

- ✓ 住みやすい（住んでいると段々よくなる）
  - ✓ 自然の恵みがある（海と緑の環境）
  - ✓ 広い公園の存在
  - ✓ 貝塚の存在（海と山のバランスのとれた稀有な貝塚）
  - ✓ 一万年前から人が暮らしていた
- ✓ 穏やかさ
  - ✓ 間口が広い（人の受け入れ方など）
  - ✓ 頼朝を支援した歴史
  - ✓ 千葉氏の家訓「正直」に通じる気質
- ✓ 本格的な
  - ✓ 求めていたライフスタイルが実現できる（吹奏楽、サーフィン、芸術鑑賞、スポーツ観戦等）
  - ✓ 県都として施設が充実
  - ✓ 多様な生き方を享受できる
- ✓ 都会的な「のどかさ」「ゆとり」
  - ✓ 包括的なまちの姿
  - ✓ 都会（新しいまち）と田舎（古いまち）が存在
  - ✓ 施設（イベント会場、公園、道路 等）が広大
  - ✓ かっこつけていない、ある意味ライフスタイルがおしゃれ（内面、精神面を刺激してくれる）
  - ✓ 人がのびのび育つ要素がある

### 3. 言葉の集約

#### (2) 千葉市の都市アイデンティティの方向性



### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案一覧）

素案1

古いものと新しいもの、都会と田舎、様々な融合が魅力を生む街

素案2

海と緑に囲まれながら、本格的な文化・芸術・スポーツを楽しめる街

素案3

どこにも人を和ます空間がある、市全体がひとつの大きな公園と言える街

素案4

飾らない、素朴な住民の多い穏やかな都市

素案5

人が住み続けて一万年の街

素案6

いろいろなライフスタイルが生まれる街、マルチライフスタイル都市

素案7

あなたをあなたらしく変える街、自分らしい生き方が見つかる街

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案 1）

##### 素案1

“中間的、新旧の顔”から、千葉市には、海と緑、都会と田舎、先進と古さ、農業と工業、鉄鋼業までが同居していて、それらが融合して千葉市らしさをつくっている。対立するものが、融合して独自の世界をつくっている。そんな、排他的でなく何でも受け入れて成長する千葉市の姿をアピールする方向

古いものと新しいもの、都会と田舎、  
さまざまな融合が魅力を生む街

対立しているものが違和感なく共存して融合する街。何でも受け入れて成長する、包容力のある都市、千葉市。

だから、人も、どんな人も温かく受け入れてくれるんだね！  
縄文からつづく土地柄がそうさせるのか・・

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ (素案 1)

都市アイデンティティ案

(千葉市らしさ)

素材

市民・市民外  
の発言

古いものと新しいもの、都会と田舎、  
さまざまな融合が魅力を生む街

「都会や田舎」「新旧」とが対立するのではなく融合している  
排他的でもなく何でも受け入れて成長している

都会／田舎／ショッピングモール／歴史を感じる商店街／加曽利貝塚／  
緑豊かな住環境／JFEスチール／海浜公園／千葉港／工場地帯／  
近代的な街並み／モノレール／歴史／千葉氏／千葉城／千葉神社／農産物

- 「千葉市はそれぞれの区で特徴があると思う。田舎っぽい雰囲気と、ビルや団地が多い雰囲気の二極化している。」
- 「東京から友達に「政令指定都市なのにこんなに緑が沢山あるのか」と言われる。」
- 「海浜幕張の辺りは、高層ビル群や近代的なビルがあって、ちょっと非日常を味わえる。」
- 「田舎っぽいだけじゃなくて、都会的な部分もある。今まででは都会に行かないとできなかったことも、全部千葉市でできる。両方融け合っているから住みやすい。」
- 「新しいところと、昔からあるところの差が結構大きいと思う。」
- 「新旧がある街」というのは、雑多でごっちゃごっちゃしているイメージもあるけれど、一方では千葉城、亥鼻公園、大賀ハス、千葉神社とか古いものもよく見ると残っている。飲み屋街みたいなごちゃごちゃした古い場所もあるけれど、江戸時代前からの歴史が残っているというのは面白い。」
- 「鉄の街のイメージがある。当時、家族が川崎製鉄に勤務していたので、すごく馴染みがある。」
- 「千葉市の海は爽やかな海ではない。工場地帯とか J F E とかがあって、横浜とかおしゃれな感じでもない。九十九里浜のような爽やかな雰囲気の海でもない。海でもちよつと都会的というか、ぐぐもった感じの色かなと思った。遊びとか泳ぐとか楽しむという海のイメージではなくて、工場地帯のクレーンとか沢山建っていて、工場の海というイメージ。」
- 「工業地帯の海なのでよく見ると決して綺麗ではないが、海の広がりや天気の良い日に眺めると自分の中ではとても綺麗に見える。光と海と、キラキラした感じに映る。」

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案 2）

##### 素案2

“本格的な文化・芸術・スポーツ”から、千葉には、県都として、あらゆる施設やイベントがあり、それがそれぞれ本格的である。素晴らしい自然（緑と海）とともに、文化、芸術、スポーツなどの本格・本物と触れ合える街であることをアピールする方向

海と緑に囲まれながら、  
本格的な文化・芸術・スポーツを楽しめる街

本物・本格が身近にあり、それを日常の中で気軽に楽しめる街、千葉市。

だから、気持ちまで豊かになれる。  
だから、千葉市は子どもがのびのび育つんだ！

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ (素案 2)

##### 都市アイデンティティ案

##### (千葉市らしさ)

海と緑に囲まれながら、  
本格的な文化・芸術・スポーツを楽しめる街

県都、政令指定都市として、文化・芸術・スポーツの施設やイベントが充実している  
本物・本格的なものが身近にあり、日常の中で気軽に楽しめる

##### 素材

千葉市図書館／Qiball（きぼーる）／プラネタリウム／千葉市美術館／  
県の施設（県立図書館、県文化会館、県立美術館、スポーツセンターなど）／  
千葉ロッテマリーンズ／ジェフユナイテッド市原・千葉／  
国際千葉駅伝／アクアリンクちば／幕張メッセ

##### 市民・市民外 の発言

- 「千葉県文化会館は結構いいホールで好き。」
- 「吹奏楽やオーケストラ、合唱など、制覇しているのは千葉市の学校だったりする。」
- 「千葉市美術館はよく行っている。浮世絵も充実しているし、色々な絵もくる。」
- 「図書館も市立と県立、美術館も市立と県立がある。文化会館もそうだが、大きな建物が2つずつある。普通の市よりは手厚くなっているので、楽しめる。恵まれていると思う。」
- 「カナダに留学していた時があったが、カナダで見たプラネタリウムが最新の設備だった。きぼーるのプラネタリウムの設備が同じものだったので凄いと思った。」
- 「自宅の前が千葉国際駅伝の第1中継所になっている。ランナーが準備している所が見える。有名な選手が見られる。一流のものを生で感じられるというのがよい。」
- 「子どもが小学生の時にアクアリンクちばのスケート教室に毎週通っていた。スケートリンクは少ないので茨城など遠くから通っている人がいたが、近くの人は気軽にできるから良い。」
- 「職場で千葉ロッテを応援するようになって、それからスポーツ観戦が好きになった。」
- 「ジェフやロッテなどチームがあると、応援したりスポーツに触れ合える。選手とコーチが小学校に来て教えてくれたり。この間、ジェフのマスコットとなでしこジャパンのメンバーが来ていた。」
- 「県内で一番のレストランなどのお店が沢山ある。」

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案3）

##### 素案3

“規模の大きさ”から、千葉市には、ビッグスケールな建物がいっぱいある。素晴らしい海岸エリアがある。映画のセットにでてくるような田舎もある。公園もいっぱいあり、一人当たりの公園面積は首都圏政令指定都市の中でも断トツである。千の葉があると言われように豊富な木々が四季を彩る。千葉市はどこをサイクリングしても楽しく、コースは限りなくある。千葉市は、まさに全体が公園であると言える。名物のモノレールはアトラクションの入り口のよう。千葉市の持っている楽しさ、素晴らしさをひとつの大公園（Chiba Park）としてアピールする方向

どこにも人を和ます空間がある、  
市全体がひとつの大きな公園と言える街

千葉市は気持ちを「和ませてくれる」「活気づけてくれる」「リフレッシュしてくれる」場所に溢れている。

だから、千葉市はワクワクした気分になれるんだ！  
だから、心地いいんだ！

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ (素案 3)

##### 都市アイデンティティ案

##### (千葉市らしさ)

##### 素材

##### 市民・市民外 の発言

どこにも人を和ます空間がある、  
市全体がひとつの大きな公園と言える街

千葉市は広く、エリアごとに地域の特色が異なる  
市全体でみると、様々な素材が集積したひとつの大きな公園のよう

海／海浜公園／稻毛ヨットハーバー／夕陽／海越しの富士山／

花見川サイクリングロード／モノレール／連節バス／

千葉市動物公園／昭和の森公園／大賀バス／

QVCマリンフィールド／フクダ電子アリーナ／イオンモール幕張新都心／幕張メッセ

- 「モノレールに乗ってみたらすごいなと思った。全部乗ったら、アトラクションとして楽しめる。」
- 「連節バスは、2つ連なっていてすごいなとびっくりする。他では見たことがない。」
- 「自分だったら千葉ロッテ、幕張のエリア。ロッテ、マリンスタジアム、ついでにエリア一帯、イオンモールも含めてドンとまとめて。」
- 「果物狩りとかが市内でできるというのが意外と盲点だった。」
- 「千葉市動物公園は、触れ合えるし、花は綺麗だし、野鳥はいっぱい来ている。春は桜、夏はさつき、秋はもみじも綺麗。」
- 「車窓から夕日とか眺めると綺麗な場所が結構ある。千葉市で富士山がこんなに綺麗に見えるとは思わなかった。」
- 「大賀バスは好きなんですよ、花が開く音が好きです。」
- 「昭和の森公園に木キ美術館があるのでよく行くし、泉谷公園はホタル狩りができる。」
- 「知人が県外から千葉市に来るとまずはポートタワーに連れていく、上ったりする。千葉市が見渡せるから。」
- 「青葉の森にはたぬきがいる。公園の中に湿地帯があり、そこで野鳥とかを見たことがあり自然を感じた。」
- 「千葉ロッテ。野球を全然知らない人でも面白い。ライブみたいに面白い。野球を知らなくても馬鹿騒ぎができる。」
- 「歩道が綺麗に整備されていてジョギングもできるし、海から市の終わりくらいまでのかなりの距離があるので素晴らしい。」
- 「花見川のサイクリングロードを走ったりする。」
- 「稻毛とかの浜辺は岩場がなく、子どもが浜遊びをするのに安全だし、近い。」
- 「ポートタワーの下が潮干狩りの穴場になっている。」

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案4）

##### 素案4

“ 穏やか ” から、千葉氏の持っていた「正直（オネスト）」の信条・気質と、今の千葉人の中にある  
飾らない、かっこつけない、素直な人柄・性格を合わせてアピールする方向

飾らない、素朴な住民の多い穏やかな都市

千葉氏の信条、戦が少ない、美しい自然に囲まれた、温暖な気候が生んだ素直な人々に溢れる街、千葉市。

だから、肩肘張らないで住める街。どんな人も住みやすい街なんだね！

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ (素案 4)

##### 都市アイデンティティ案

(千葉市らしさ)

飾らない、素朴な住民の多い穏やかな都市

住んでいる人も、街も、のんびり、おおらか。

都会ではあるけれど、肩肘を張らないで住める街

##### 素材

温暖な気候／天災が少ない土地／

海や里山等の豊かな自然環境／空間的な広さ／

穏やかな気質／のんびりした雰囲気／

千葉氏の「正直」の思想

##### 市民・市民外 の発言

- 「土地柄か、わりと控えめな人が多いような気がする。新しい人もおおらかに受け入れるような。」
- 「気候も温暖だし、海の物も山の物も取れるので、食べ物には昔から困っていないので、穏やかな人が多いイメージ。」
- 「攻撃的じゃないというか、平和的。」
- 「あまり主張しすぎないところが千葉市っぽい。」
- 「すごくおしゃれな人は東京で買い物をするだろうけど、自分は千葉市でちょうどいいかなと思う。」
- 「千葉市は天災が無く、台風が来てもそんなに被害は無いので、のんびりした人が多い。わりとおっとりしていると思う。」
- 「横浜の人だと『私は横浜に住んでいます』みたいな。千葉市の人には力がいい感じで抜けてる。」
- 「特別何がというわけではないが、住みやすいし、都内の喧騒を逃れて千葉に帰ってくるとほっとする。」
- 「都会は便利だし羨ましいと思うことはよくあるが、でも自分が住むのはこういう所がどうやら自分が好きなんだと思う。」
- 「安心できるほのぼのさがある。」

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案5）

##### 素案5

“古代から人が住まう土地”から、世界でもまれな、海と山の遺物が両方バランスよく発掘された「貝塚」と、縄文から今につづく、人が住む上での自然の恵み（食、気候、景観など全ての面で）の素晴らしさをアピールする方向

## 人が住み続けて一万年の街

一万年間、食、気候、景観など全ての面で人に快適な生活を与える街、千葉市。

だから、住みやすいんだ！ だから、人も土地もあったかい。  
住みやすさ、一万年の証明だね！

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ (素案 5)

##### 都市アイデンティティ案

(千葉市らしさ)

##### 人が住み続けて一万年の街

太古から人々の生活が営まれてきたことが実証する住みやすい土地  
自然の恵みあふれる土地での快適で豊かな生活

##### 素材

温暖な気候／天災が少ない土地／いくつもの貝塚／  
海／潮風・海の香り／美しい夕陽の景色／  
新鮮な海の幸／採りたての野菜や果物／  
豊かな緑／広い公園の木々や花／田舎の風景

##### 市民・市民外 の発言

- 「気候も温暖だし、海の物も山の物も取れていた。食べ物には昔から困っていないので、穏やかな人が多いイメージ。」
- 「自然もいいし、食べ物は美味しいし、衣食住どれを取っても良い。」
- 「東北や北関東に住んだとき、温暖差があるなど気候の違いをすごく感じた。千葉市は暖かい所。」
- 「色々なものを総合した住みやすさを感じる。東京に比べて物価が安いとか。だけど、そこそこ色々な物が揃っている。」
- 「千葉市の卸売市場は安くておいしいと聞いていた。やっぱり海鮮丼だと思う。ネタが新鮮。市場からセリに上がって、仲卸が直接さばいたものを食べられる。」
- 「子どもの時は、旧道の14号沿いの海が遠浅で波があって、その先に竹ひごを挿して海苔を作っていた。その海からの水が、夜とかは月の光が映ってすごく綺麗だった。それで海苔の香りがして、幕張はすごい綺麗な所だった。」
- 「千葉市に引っ越しして来た30年前は、緑が近くにあって、リスがそら辺にいて、ちょっと行くと筍が採れるし、タラの芽も採れる所だった。海も近いし、野菜も美味しいし物価も安いし空気も美味しい。都会に行こうと思えば電車1本で出られるので『こんなにいい場所は無い』と思った。」
- 「田舎の方に行くとロケで使われそうな田舎の風景があるので、そこがいいと思う。」

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案 6）

##### 素案6

“多様性ある暮らし”から、九十九里浜に近接し、都会と自然を行き来するのに最適なところ。都市ライフと自然ライフが共存する街が生む、住む人の多様な、ダイナミックなライフスタイルに注目してアピールする方向

## いろいろなライフスタイルが生まれる街、 マルチライフスタイル都市

都市ライフと自然ライフが共存し、多様でダイナミックな生活を与えてくれる都市、千葉市。

だから、人が生き生きしてるんだ！ 住む人の生活のフィールドが広い。  
せせこましくない、大自然の中にある大都市。だから、住みやすい！

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ (素案 6)

##### 都市アイデンティティ案

(千葉市らしさ)

素材

市民・市民外  
の発言

いろいろなライフスタイルが生まれる街、  
マルチライフスタイル都市

都市ライフと自然ライフが共存する

いろいろな人の多様なライフスタイルに適応できる

海／海浜公園／南房総や九十九里へのアクセスの良さ／

四季折々の自然／農園／田舎ライフ／広大で緑豊かな公園／

安くて新鮮な魚や野菜／都内への通勤／子育て環境／昭和の森公園／

ドライブ／アウトドア／ゴルフ／サーフィン／ヨットハーバー／バーベキュー

- 「千葉駅なら始発電車もあるから会社のある錦糸町まで座って行けるし、沿線なので通勤時間も短くなる。」
- 「千葉市で100円で買えるアスパラが東京では300円。生活するには千葉市のほうが良いと考え始めた。」
- 「子どもがいたので、教育環境も考えて、都会だけど、ちょっとのんびりしている千葉市にした。」
- 「遊びたい放題。自然、アウトドアが良かったので恵まれていると思った。趣味が多く、自分は絵も音楽もやるので、色々な部分で恵まれている。」
- 「小型船舶免許を取り、プレジャーボートを買って、ゴルフスクールに妻と一緒に通ってコースを周って、結構楽しめると思った。千葉市じゃなかったら、そういうことをしなかったと思う。」
- 「千葉市は静かさや空間の広さなどほっとする。今の家の環境が自分には合っているなと思う。」
- 「住み方を見つけられる感じ。ちょっと田舎へ行けば田舎ライフもできるし、通勤の心配があるのなら幕張とか東京よりも行けば良いし、海が好きな人は海の方へいけば良い。いろいろな人のライフスタイルに適応できる。」
- 「自分はサラリーマンサーファー。週末は毎回海には行きたい、波が良い時はできれば平日も行きたい。自宅を千葉市に選んだのもその理由がある。」
- 「ホタルも出し、いわゆる漫画に出てくるような田舎。そういうのが好きな人にとっては最高の場所。」

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ（素案7）

##### 素案7

“住むと段々良くなる”から、グループインタビューの“住んでいると、だんだんよくなる”“千葉に住んで、変わったねと言われる”などの言葉で代表される、千葉市に暮らす、千葉市に住むことによる目に見えない効果、効用を分析してアピールする方向

あなたをあなたらしく変える街、  
自分らしい生き方が見つかる街

知らず知らず、自分に素直になって、心の底から元気になる街、千葉市。

だから、みんな伸び伸びしてるんだ！千葉のいろいろな環境が人を変えてくれんだ。  
千葉氏のオネストが、そんな力を与えているのかもしれない。

### 3. 言葉の集約

#### (3) 千葉市の都市アイデンティティ (素案 7)

都市アイデンティティ案

(千葉市らしさ)

あなたをあなたらしく変える街、  
自分らしい生き方が見つかる街

やりたかったことが実現できる、やりたいことが見つかる  
千葉市に住んでいると、自分らしい生き方ができる

素材

海／海浜公園／稲毛ヨットハーバー／幕張の夕陽／緑豊かな公園／農園・畠／  
ゴルフ／テニス／サイクリング／アウトドア／観光農園／  
スポーツ観戦／文化・芸術施設／イベント参加／新鮮な食材／  
美味しい手頃な飲食店／ショッピング／イオンモール幕張新都心

市民・市民外  
の発言

- 「住んでみるとゴルフ場もテニスコートもあるし、農園も借りてやったし、釣りに行くのも九十九里まで車で30分で行ける。ちょっとドライブで1時間も走れば南房総にも行ける。そういう意味では、千葉にきて良かったと思っている。遊びたい放題。自分は趣味が多く、絵も音楽もやるが、色々な部分で恵まれている。」
- 「住んでいるとだんだん良くなっていた。小型船舶免許を取り、プレジャーボートを買って、ゴルフスクールに妻と一緒に通ってコースを周って、結構楽しめたなと思った。千葉市じゃなかったら、そういうことをしなかったと思う。」
- 「景色や花が綺麗な場所が好き。写真を取るのも好きなので、絵になる場所が近い所にあってよかったと思う。」
- 「ヨットハーバーが見える風景が自分には憧れ。自分はヨットを持っていないが、ハーバーが見えるレストランがあり、自分がヨットを持っている気分になる。月に1回くらいそんな気分を味わっている。」
- 「海浜幕張のホテルの最上階で、窓際に座ってお茶とかケーキを食べながら夕日を見るのがとても好き。」
- 「自分好みのブランド古着店を見つけて、千葉駅周辺に月に1回ぐらい行くようになった。」
- 「幕張のイオンモールに行く。ふつうのイオンとは違って、ハワイやスウェーデンの専門雑貨屋とかこだわりのお店があるから。」
- 「家族全員で千葉ロッテマリーンズのファンクラブに入っていた。」
- 「ジャズのイベントを秋にやるので参加してみようかな。」
- 「最近はご無沙汰していたが、時間が出来たので、サッカーは見に行こうかなと思う。」

### 3. 言葉の集約

#### (4) 千葉市の都市アイデンティティに関する素材（地域資源）の抽出

千葉市素材の抽出にあたっては、千葉市らしさを表す言葉を集め、都市アイデンティティ素案に関連性が強いものや多くの人に認知されているものの観点等から検討を行った。検討のフローおよび視点の整理表は次のとおりである。

都市アイデンティティ素案	素材の要素
素案1 古いものと新しいもの、都会と田舎、様々な融合が魅力を生む街	歴史（千葉氏等）
	生産都市
素案2 海と緑に囲まれながら、本格的な文化・芸術・スポーツを楽しめる街	スポーツ関連施設
	文化・芸術関連施設
素案3 どこにも人を和ます空間がある、市全体がひとつの大きな公園と言える街	みんなが遊び、楽しめる場所
	都市公園
素案4 飾らない、素朴な住民の多い穏やかな都市	温暖な気候
	千葉氏の気質
素案5 人が住み続けて一万家の街	食物の多様性（貝塚）
	温暖な気候
素案6 いろいろなライフスタイルが生まれる街、マルチライフスタイル都市	都市と自然
	子育てからシニアまで
素案7 あなたをあなたらしく変える街、自分らしい生き方が見つかる街	都市と自然
	体を動かす環境

素案に関連性が強いと想定される素材を選定



素材検討案
・幕張新都心（JR海浜幕張駅を中心に、職・住・学・遊が融合した都心地区。幕張メッセやイオンモール、アウトレット、QVCマリンフィールド、幕張ベイタウンなどがある。）
・幕張メッセ
・加曽利貝塚
・千葉氏
・蘇我副都心（JR蘇我駅を中心に、戦後復興の核をなした鉄鋼業（JFEスチール千葉工場）などの工業地帯と、大規模なスポーツ公園やショッピングモールが整備されたエリア）
・幕張メッセ（日本初のコンベンションセンター。日本最大級のフリーマーケット（5月）や東京ゲームショウ、ニコニコ超会議の会場でも知られる。公共建築百選に選ばれている。）
・千葉市美術館（房総ゆかりの作品や近世・現代美術品、特に浮世絵のコレクションが充実した美術館。先日も東添澤京都知事が来訪し、オリンピックの際に首都圏の美術館・博物館回遊構想を打ち出した。）
・プロスポーツ（千葉市は、プロ野球とリーグが両方楽しめる都市であり、そのための施設も充実。）
・きぼーる（参加体験型の科学館。100万個を超える星空が楽しめる巨大プラネタリウムが人気。）
・モノレール（世界最長の懸垂式モノレール）
・千葉市動物公園（昭和60年に開園。レッサーパンダやハシビロコウが有名。現在、リスタート構想を策定し、大幅なリニューアルを計画中。）
・大賀ハス（昭和26年に千葉市検見川で発掘された2000年以上前のハスの実が発芽・開花した古代ハス。世界最古の花である。）
・千葉氏（桓武平氏の流れをくみ、1126年に亥鼻に本拠を構える。源頼朝を支援し、鎌倉幕府設立に貢献。千葉の都市としての礎を築く。一族は、東北から九州にかけて活躍した。認知度は非常に低いが、千葉市としてはPRを進めたい素材。）
・加曽利貝塚（貝塚の密集度が最大の千葉市において最大規模を誇る貝塚。今から約5千年前から約3千年前までの2千年間にわたって形成される。国指定史跡・日本の歴史公園百選、ちは遺産百選に指定されている。「特別史跡（国宝の扱い）」の指定を目指し、積極的なPR展開を開始した。）
・昭和の森公園（市内最大の公園。高台にあり九十九里を一望できる。広大な芝生やアスレチックがあり、市民の憩いの場であるのはもちろん、毎年2月に開催される「千葉国際クロスカントリー大会」には国内外のトップ選手が集まるほか、園内ランニングロードは、観光庁公認のランニングロードに認定される。日本の都市公園百選に指定されている。）
・海浜公園（稲毛・検見川・幕張に亘る日本一の人工海浜をもつ。プールやBBQ広場、アスレチック、フリーミュージアムなどの施設があるだけでなく、日本の民間航空の発祥の地だったり、日本の白砂青松百選に選ばれるなど、多面性も。）
・アウトドア（海と緑を存分に満喫できるだけのフィールドが千葉市にはあるといいイメージ。）
・観光農園（政策市でありながら、身近にある自然を満喫できるひとつの象徴。）
・ショッピング（臨海部のショッピングモール等や、千葉駅周辺の大型百貨店など、充実したショッピングライフを楽しめる。）
・サイクリング（花見川サイクリングロードは、検見川の浜を起点に花見川沿いを上流まで上る人気のサイクリングロード。また、市内の道路にも専用レーンを増設中で、将来的には市内各所を結ぶ計画もある。）

多くの人に認知されないと想定される素材や千葉市の特徴的な素材を抽出



抽出15素材
●幕張メッセ
●加曽利貝塚
●千葉氏
●蘇我副都心
●幕張メッセ ※
●千葉市美術館
●プロスポーツ
●千葉モニュメント
●千葉市動物公園
●大賀ハス
●千葉氏 ※
●加曽利貝塚 ※
●昭和の森公園
●ビーチ（海浜公園）
●アウトドア
●観光農園
●ショッピング
●サイクリング

アンケート対象として15素材を抽出

### 3. 言葉の集約

#### (5) 千葉市の都市アイデンティティに関する素材とキャッチコピー案

素材1	千葉氏（ちばうじ）	知る人ぞ知る千葉市の礎を築いた武士団
素材2	加曽利貝塚	世界でも最大規模 縄文人の暮らしの証
素材3	蘇我副都心	近代化を支えた鉄鋼業の街から未来の副都心へ
素材4	幕張メッセ	多彩なイベントが目白押し 日本を代表するコンベンションセンター
素材5	千葉市美術館	建物自体がアートしている美術館
素材6	プロスポーツ	ホームタウンの誇り高きプロチーム
素材7	千葉市動物公園	動物も自然も癒し系 みんなの憩いの動物公園
素材8	千葉モノレール	懸垂式で世界最長！空を駆けるモノレール
素材9	大賀バス	古（いにしえ）の息吹を伝えるロマンの花
素材10	昭和の森公園	東京ドーム21個分の自然空間 お気に入りの過ごし方がみつかるはず
素材11	ビーチ	楽しみ方満載 総延長 4320mに及ぶ日本一の人工海浜
素材12	アウトドア	都会の中の海や里山で遊びたい放題
素材13	サイクリング	すいすい走れる！ベイサイドや里山のサイクリングコース
素材14	ショッピング	話題のショッピングモールから老舗銘店まで買い物スポットがたくさん
素材15	観光農園	政令市の中にあります。旬の味覚